



紡ぐ居場所 ～保護犬猫と高齢者のペットタウン～

A20AB113 古澤 愛華

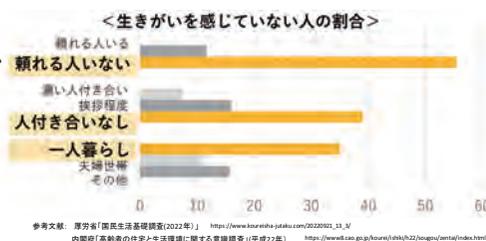
研究フロー

I. 研究の概要	
1-1. 背景	1-2. 目的
1-3. 位置づけ	
II. 設計条件の抽出	
II-1. 動物愛護施設への実態調査	II-2. 高齢者の生きがい創出に基づく空間の検討
II-3. 文献調査に基づいた計画する店舗等の選定	II-4. 「ペットタウン」に関してアンケート調査を実施し、取扱を立証する
III. 設計プログラム	
III-1. 競馬場既存スタンドのリノベーションに関する検討	III-2. ペット飼育可能マンションに必要な設備
IV. 設計	

背景

①孤立高齢者の増加

日本の高齢化率は29%を超え、それに伴い社会から孤立する「孤立高齢者」が増加している。社会的孤立は生きがいの低下をもたらし、その死亡率は飲煙以上であると言われている。



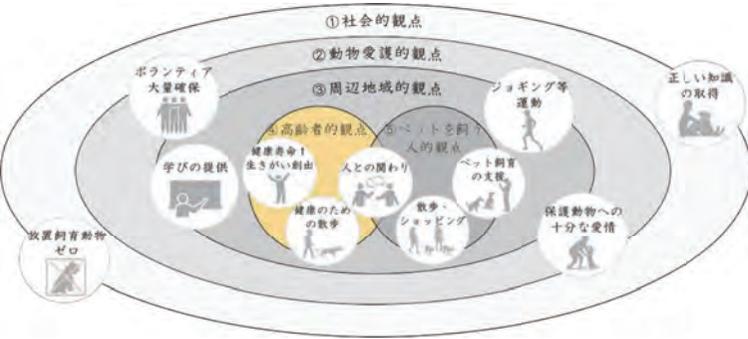
②放置飼育動物の増加

日本は動物愛護の三流国と揶揄される。保護犬猫の引き取り数や殺処分数は減少しているものの、引き取り屋と呼ばれるビジネスが横行し、劣悪な環境下での放置飼育が増加している。



参考文獻: 「引き取り屋」という闇「殺さずに、死ぬまで飼う」朝日新聞 2015年5月15日 <https://apple.asahi.com/articles/1J561919>

「人と犬猫が共生する社会の実現及び
孤立高齢者の生きがい創出に寄与するペットタウンの計画」



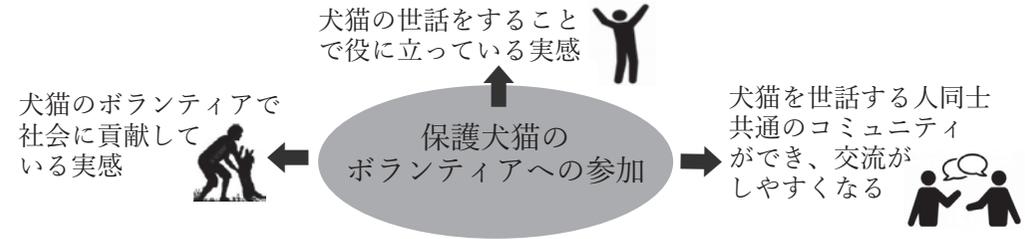
背景①孤立高齢者の増加、
背景②放置飼育動物の増加の
2つの問題をかけ合わせるこ
とで、双方の問題を解決でき
ると考える。

キーワード
・孤立高齢者 ・放置飼育動物
・生きがい ・居場所
・人と犬猫の共生社会

●高齢者が生きがいを感じるために必要なこと

- ・人や社会に対し、自分が役に立っている・貢献できているという実感
- ・人と交流し、つながりがある

↓
保護犬猫にかかわるボランティアへの参加

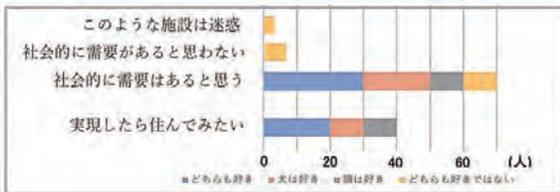


調査結果、位置づけ

●犬猫がもたらす良い効果 ※1



●設計案に対する街中アンケート調査



●名古屋市動物愛護センター調査

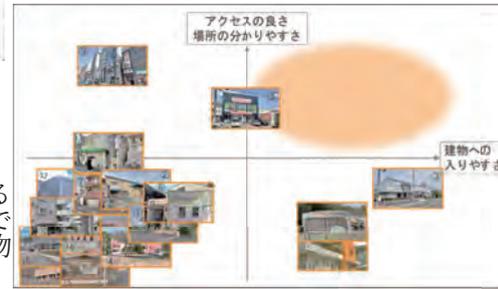
保護犬の保護理由	
高齢で飼育困難になった飼い主からの引き取り	18.2%
捕獲(捨て犬)	81.8%

	保護犬のデータ (2020年)	
	全国 (頭)	愛知県 (頭)
引き取り数	27000	1018
返還数	9400	404
譲渡数	14000	390
殺処分数	4000	197

引き取り数、
殺処分数は
減少している
が、その裏で
放置飼育動物
は増加。

●愛知県の動物愛護施設

調査の結果、アクセスが良く、かつ建物にも入りやすい動物愛護施設はなかった。

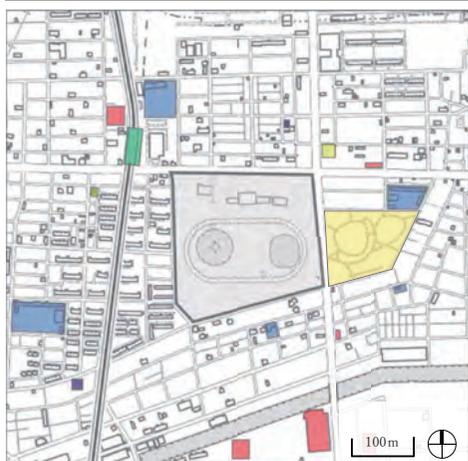


●位置づけ

高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究や事例はあったが、元気な高齢者が生きがい創出するために保護犬や猫を活用している事例や研究はなかった。

研究機関	研究内容	年次
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2020
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2021
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2022
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2023
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2024
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2025
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2026
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2027
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2028
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2029
名古屋市動物愛護センター	高齢者の介護施設に保護犬を活用する研究	2030

敷地

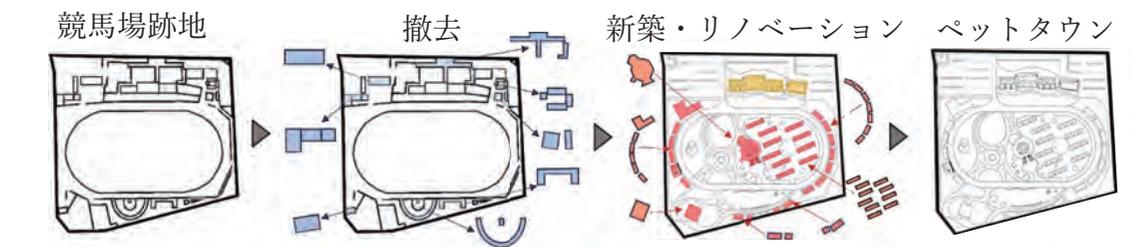


名古屋市港区泰明 (名古屋競馬場跡地)

- <ニュータウンの5要素>
- ①住: ペットタウン内マンション
 - ②買: スーパーマーケット、コンビニ
 - ③学: 学校
 - ④遊: 娯楽施設、公園
 - ⑤職: 最寄り「港北駅」まで徒歩5分。港北駅から名古屋駅まで「あおなみ線」で12分。

<敷地分析>
敷地の西側には団地が並んでおり、多くの高齢者が住んでいる。

敷地ダイアグラム



高齢者ボランティアの流れ



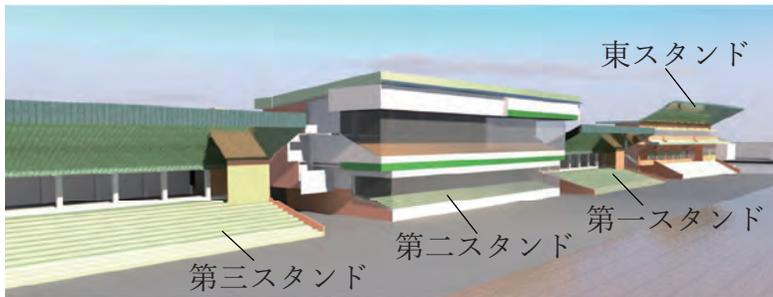
- 犬の散歩
- 生後間もない子猫の世話
- 犬猫とのふれあい

ペット飼育可マンション (リノベーション)

Before (競馬場スタンド)

After (マンション)

屋上ドッグラン



⑤ マンション1 (旧第二スタンド)

2人世帯・小さな子ども連れ向け低価格帯マンション

Before

After

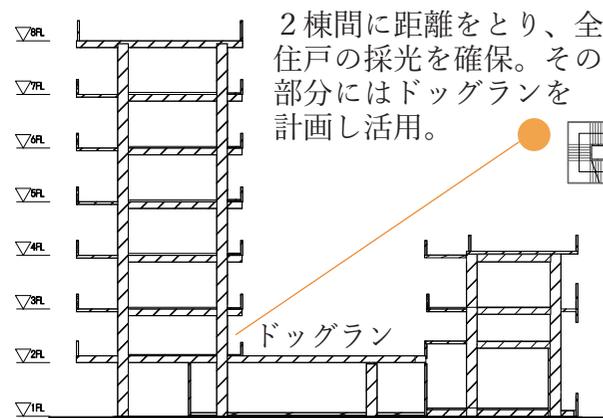
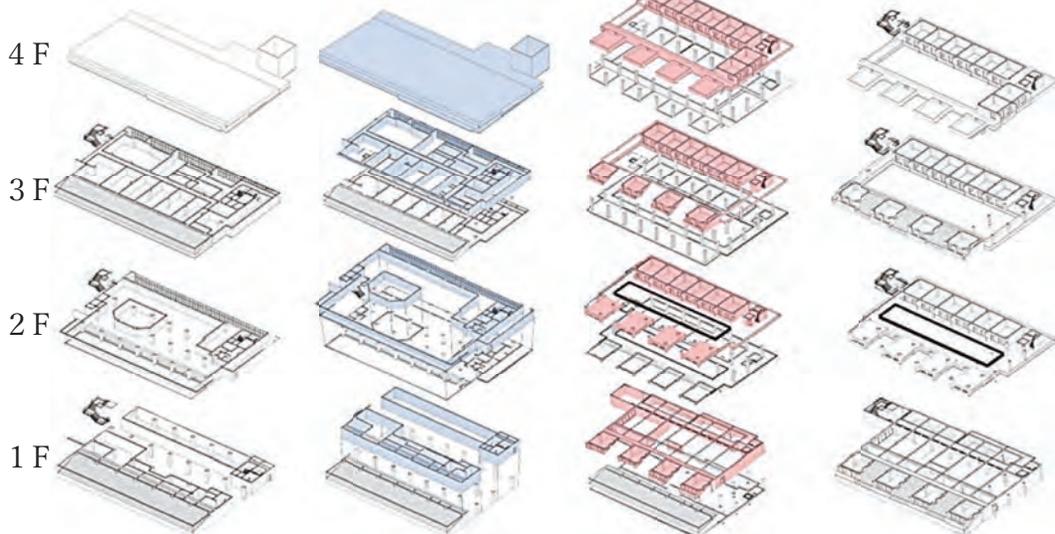


● リノベーションダイアグラム

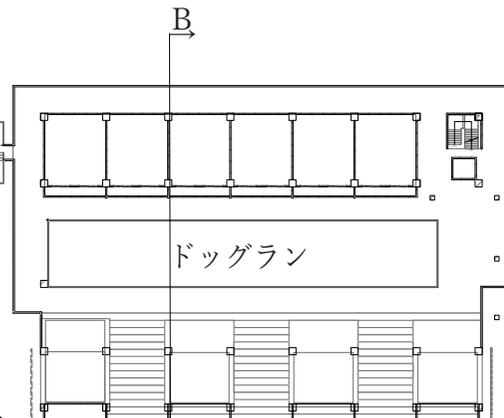
解体・撤去

改築

完了

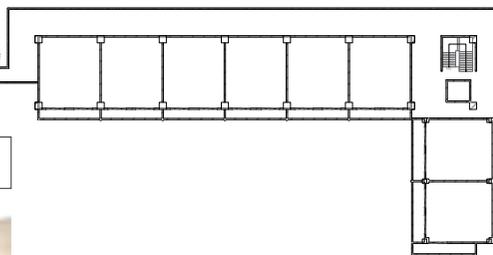


B-B 断面図 1 : 200



2階平面図 1 : 300

● ペット用に適用した住戸の例



基準階平面図 1 : 300

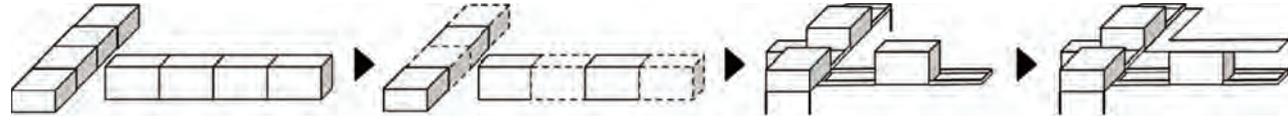


2階 ドッグラン

①動物愛護施設・高齢者向け賃貸住宅

●高齢者向け賃貸住宅ダイアグラム

住戸を横に並べる。 1住戸間隔で住戸を除去し、広いベランダに。 住戸を直交するように重ねる。 直交していない部分にたまり場生まれる。



●ペット飼育可マンション 設備等

●ペット飼育に適した床材

室内の設備		低劣
1	床から90cmの位置に「さん」	壁面を汚しても簡単に交換できるようにする
2	くぐり戸	ドアが閉まっても犬や猫が出入りできる
3	キャットリビング	猫がのぼれる網
4	「オゾン発生装置」や「イオン発生機」の取り付け	臭いを分解し消臭効果
5	ドッグフェンス	玄関ドアの内側に設置し飛び出し防止
6	下部に「通気口」	ペットが滞留する床付近を効果的に換気
7	さんよりコンセント位置を高く	ペットの感電を防ぐ
8	テラスの下部に傾斜を付ける	抜け毛を流水で洗い出せるようにする
9	大量量の収納スペース	ペット用品をストックする
10	仕切りは「引き戸」	使い方によって柔軟に対応できるようにする
11	リードフック	
12	広めの浴室	大型犬でも洗いやすい
13	玄関ドアからの廊下は一直線にする	風の通り道ができ、通風・換気を確保

共用部の設備		低劣
1	マンションの入り口に足洗い機	散歩後に足を洗ってから入れる
2	マンションの入り口にダストボックス	散歩中の汚物を捨てることのできる
3	ドッグラン	ペットを運動させることのできるスペース
4	共用部下の幅は最低1.5mを確保	ペットを連れ込んだ人同士が容易にすれ違える
5	動線	ペットの歩く動線と車・自転車等の動線を分ける
6	エントランスホールの舗装材は透水性の悪いものを選定	水はけを良くすることで雑菌の繁殖を防ぐ
7	ベンチ等を設置したアクセス commons ペースを計画	入居者同士の交流ができる

床材種類	性能					デザイン性	備考
	滑りにくさ	掃除しやすさ	耐久性	足腰の負担	価格		
合板フローリング	×	○	○	△	○	○	ペット床材には不向き
ペット対応フローリング	○	○	○	△	△	△	小型犬向きで大型犬には効果なし
無垢フローリング	×~△	×	×~△	△~○	△	○	合板フローリング同様に滑る
ウレタン・ガラスコーティングのフローリング	×~△	○	○	△~○	×	○~◎	ペット床材には不向き
UV・シリコンコーティングのフローリング	○	○	○	△~○	×	△	一般的にペット専用コーティングフローリングと呼ばれるもの。経年で滑るように。
屋内用タイル	△~○	○	◎	×	×	◎	犬の歩行には支障がないレベルの防滑性。足腰の負担は高いが、冷たいためタイルを好む犬も。
屋外用タイル	○	○	◎	×	×	◎	屋内用より滑りにくいが、清掃はしにくくなる。
カーペット・タイルカーペット	◎	×	×	◎	○	○	清掃性が低いため、一部分のみの使用が良い。
コルクタイル・コルクカーペット	◎	△~○	×~△	△	△	△	耐久性が低いため、定期的な交換が必要。
塩ビシート	△	◎	○	△	○	○	硬めのシートなため滑りやすい。
クッションフロア	○	◎	△~○	○	○	△~○	厚いものほど滑りにくい。(2.3~3.5mmほど)
防滑シート・ノンスキッド	○~◎	○	◎	×~△	△~○	△	マンションの共用部等に使用されている。爪音が聞こえやすい。

参考文献: 犬猫のストレスをなくす アドホック 2023.11.26
 人気の子犬共生マンション: 人気の子犬共生マンション: あると便利な設備の選び方 日経アーキテクチャ 2023.11.26

動物愛護施設・高齢者向け賃貸住宅 全体

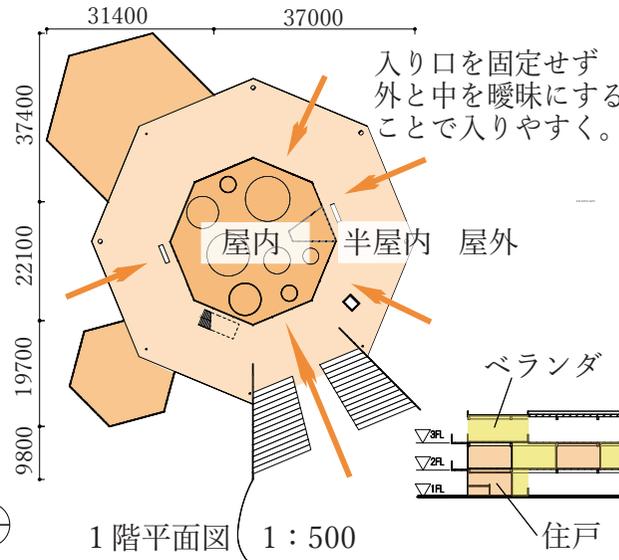
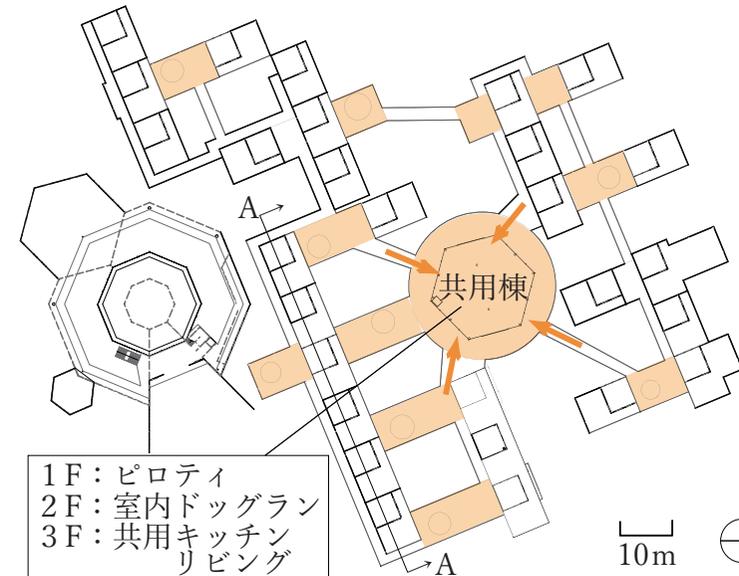


動物愛護施設前の広場



●2階平面図 (1:800) 兼交流スペースダイアグラム

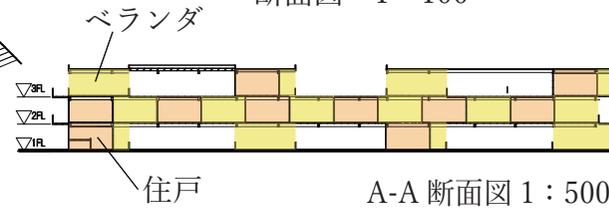
●動物愛護施設 構成ダイアグラム



天井高を 4500 確保し居室の下にペット飼育に必要な大容量収納をつくる



高齢者向け賃貸住宅 住戸断面図 1:100



A-A 断面図 1:500

動物愛護施設ふれあいスペース



動物愛護施設 屋上





リノベーションした範囲

駐車場

競馬場の砂

ドッグラン

100m

②緑の散歩道
ペットの散歩だけでなく地域の人の運動や子どもの遊び場としても利用可能。



③商業ゾーン
ペットタウンを囲むように配置。ペット関連の商業施設・病院等がすべてそろろう。



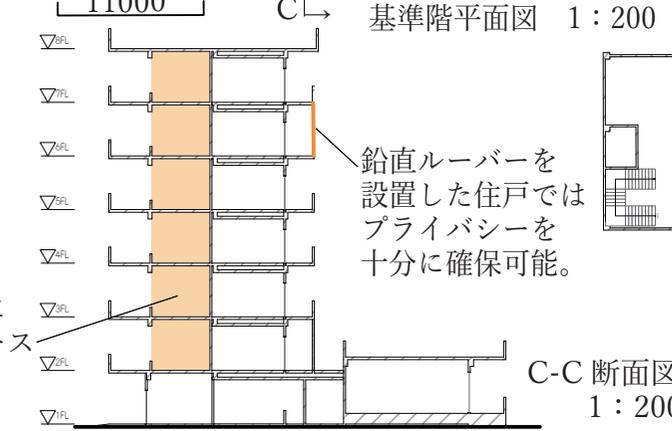
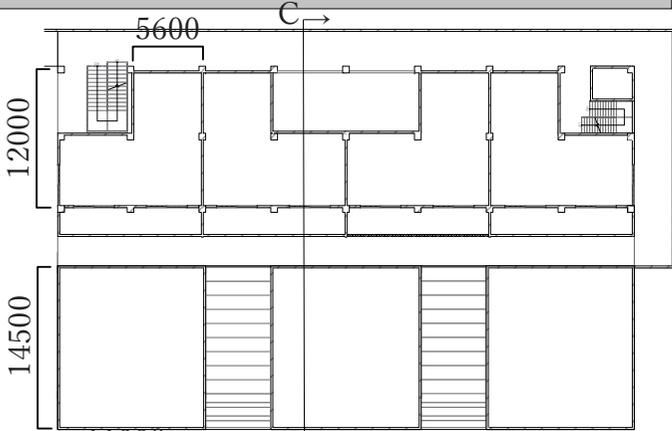
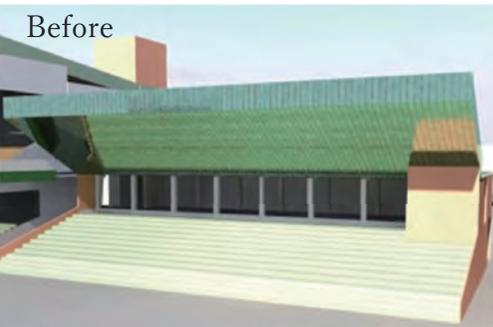
店舗 (全てペット同伴可)	
カフェ	動物病院
レストラン	犬の幼稚園
フードコート	ペットホテル
ペット用品店	フィットネスクラブ
ペットサロン	

④タワーマンション
木質化された30階建てタワーマンション。



⑥マンション2 (旧第一・第三スタンド)

3・4人ファミリー世帯向けマンション

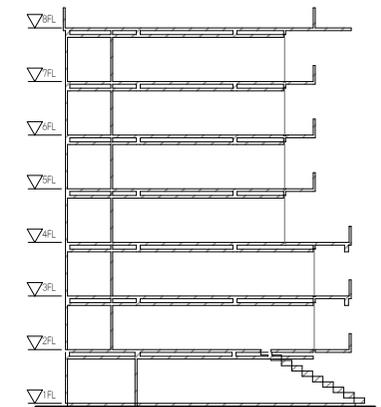
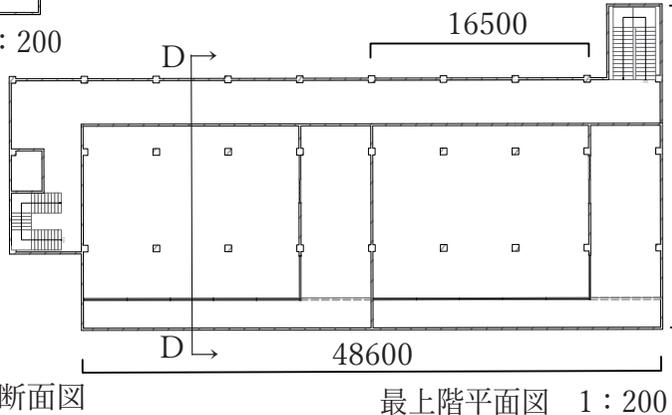


各フロアに交流スペースを設置

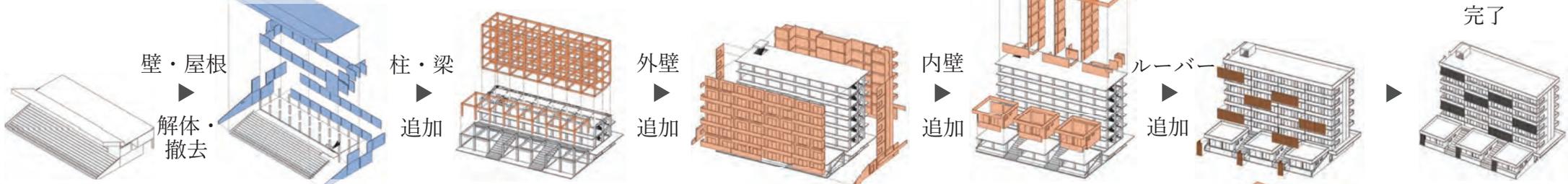
鉛直ルーバーを設置した住戸ではプライバシーを十分に確保可能。

⑦マンション3 (旧東スタンド)

全住戸 100㎡超え中廊下型高価格帯マンション



●マンション2 リノベーションダイアグラム



●マンション3 リノベーションダイアグラム

